

## 4. 地上安全計画

## 4. 1 17号機と14号機との地上安全計画の相違点(1/2)

17号機と14号機との地上安全計画の相違点を示す。

項目	変更の有無、内容、理由
まえがき	変更無し
1. 総則	打上げ年度／衛星名称の変更
2. 地上安全の目的及び範囲	変更無し
3. 関連法規 3. 1 国内法令等 3. 2 社内規定、基準等	変更無し
4. 搭載用保安物	・ロケット等に搭載する保安物搭載量の変更（本資料4. 2項参照） （地上安全計画 表-1、図-1参照）
5. 保安物貯蔵取扱施設設備 5. 1 保安物 5. 2 防災施設設備 5. 3 施設設備の安全対策	変更無し
6. 地上安全管制施設設備	変更無し

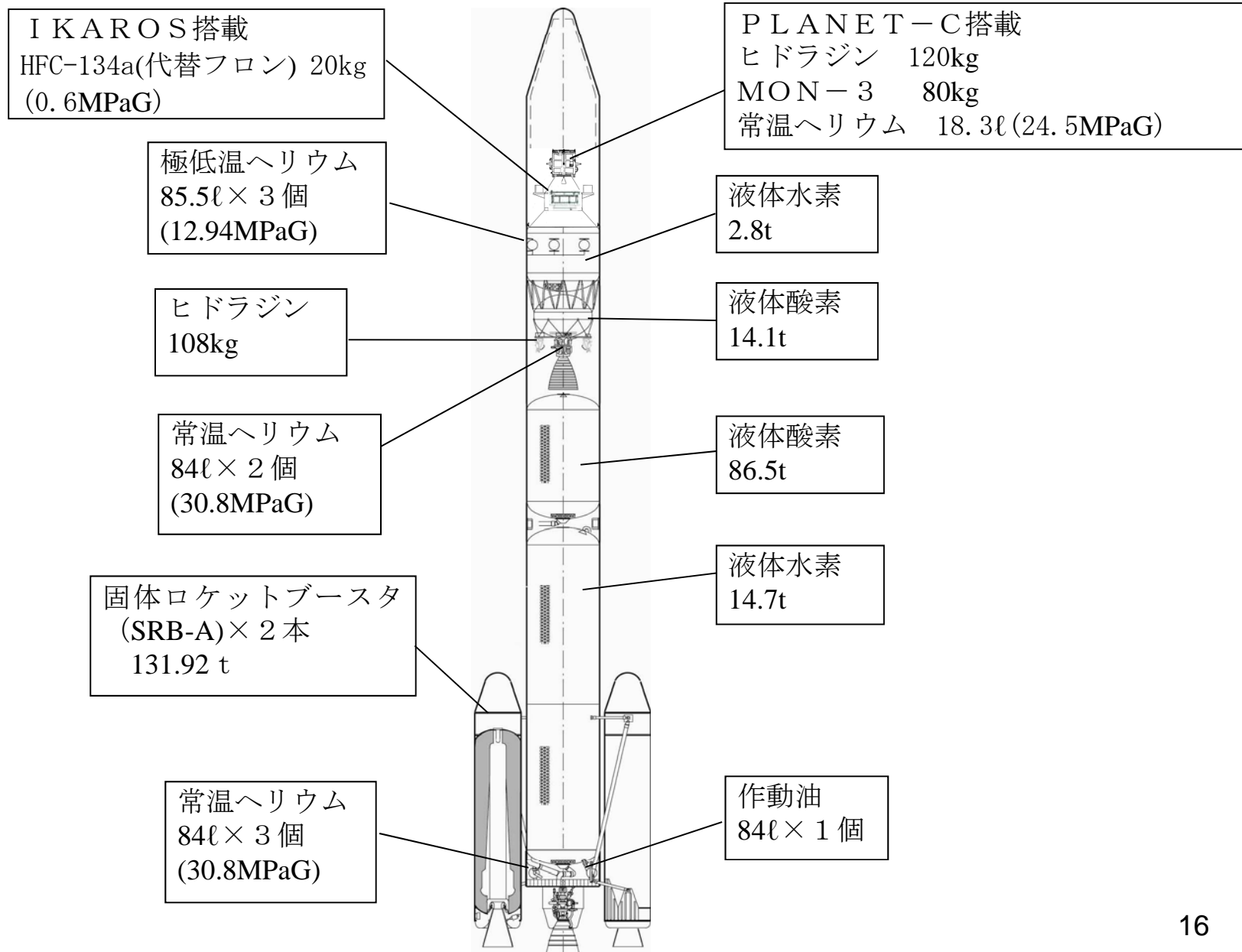
SAC安全評価基準に対する適合性については、問題ないことを確認している。

## 4.1 17号機と14号機との地上安全計画の相違点(2/2)

項目	変更の有無、内容、理由
7. 安全対策 7.1 射場整備作業の安全 7.2 発射整備作業の安全 7.3 その他の安全対策 7.4 警戒区域の設定及び運用管理  7.5 船舶及び航空機に対する通報 7.6 射場の保安及び防御対策 7.7 液体推進薬流出拡散に対する対策	変更無し 変更無し 変更無し ・海上警戒区域の変更（本資料3.5項、地上安全計画 図-4参照） ・海上警戒用設備として夜間監視カメラの導入に伴う変更（地上安全計画別添表-2、図-2参照）  変更無し 変更無し ・通報連絡範囲の変更（本資料4.3項、地上安全計画 図-5、地上安全計画別添 図-5参照）
8. 地上安全組織及び業務	打上安全監理業務の定常組織化を反映し、地上安全組織の責任者の呼称を変更した。
9. 安全教育・訓練 9.1 一般安全教育 9.2 作業別安全教育訓練 9.3 総合防災訓練 9.4 海上警戒訓練	変更無し
10. 事故等発生時の対策及び措置 10.1 警戒体制の発動 10.2 事故等発生時の緊急措置	変更無し

SAC安全評価基準に対する適合性については、問題ないことを確認している。

## 4.2 ロケット等搭載用保安物 (1/2)



## 4.2 ロケット等搭載用保安物 (2/2)

17号機のロケット機体及び衛星搭載の保安物を以下に示す。

名称	使用箇所		ロケット等搭載量	法令上の種類等
固体推進薬	固体ロケットブースタ(SRB-A)		131.92t *1)	火薬類
	分離モータ等		102.6kg *2)	
火工品	ロケット各段、SRB-A等*3)		11.0kg	
液化水素	1段LH2タンク		14.7t	高圧ガス
	2段LH2タンク		2.8t	
液化酸素	1段LOXタンク		86.5t	
	2段LOXタンク		14.1t	
ヘリウムガス	1段気蓄器	常温	84.0ℓ×3個 (30.8MPaG)	
	2段気蓄器	常温	84.0ℓ×2個 (30.8MPaG)	
		極低温	85.5ℓ×3個 (12.94MPaG)	
	PLANET-C	常温	18.3ℓ (24.5MPaG)	
HFC-134a (代替フロン)	IKAROS	常温	20kg (0.6MPaG)	
危険物*4)	PLANET-C、2段ガスジェット		308kg	危険物第4類 第2石油類等 毒物
作動油	1段エンジン部		84ℓ×1個	危険物第4類 第3石油類

(注)ロケット等に搭載する主な保安物は上記のとおりであり、搭載量の数量は標準値。

\*1)SRB-A2本合計(最大)

\*2)分離モータ、イグナイタの合計

\*3)衛星(PLANET-C)、衛星分離部、フェアリングの火工品を含む

\*4)ヒドラジン(PLANET-C、2段ガスジェット)、MON-3(PLANET-C)の合計

### 4.3 ガス拡散に係わる通報連絡

ガス拡散に係わる通報連絡範囲をPLANET-Cに搭載する推進薬量(ヒドラジン:120kg、MON-3:80kg)に基づき下図の通り設定した。

